

【桜台親和町会様】

マーケティング基礎調査に基づく 戦略提案

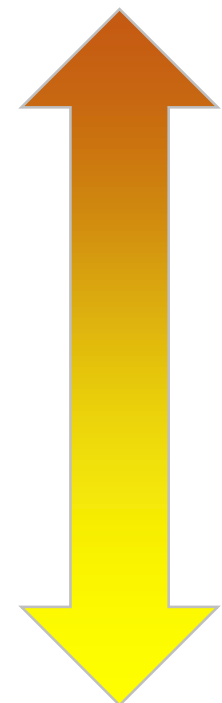
2019年12月19日

プロボノPJ 桜台親和町会チーム

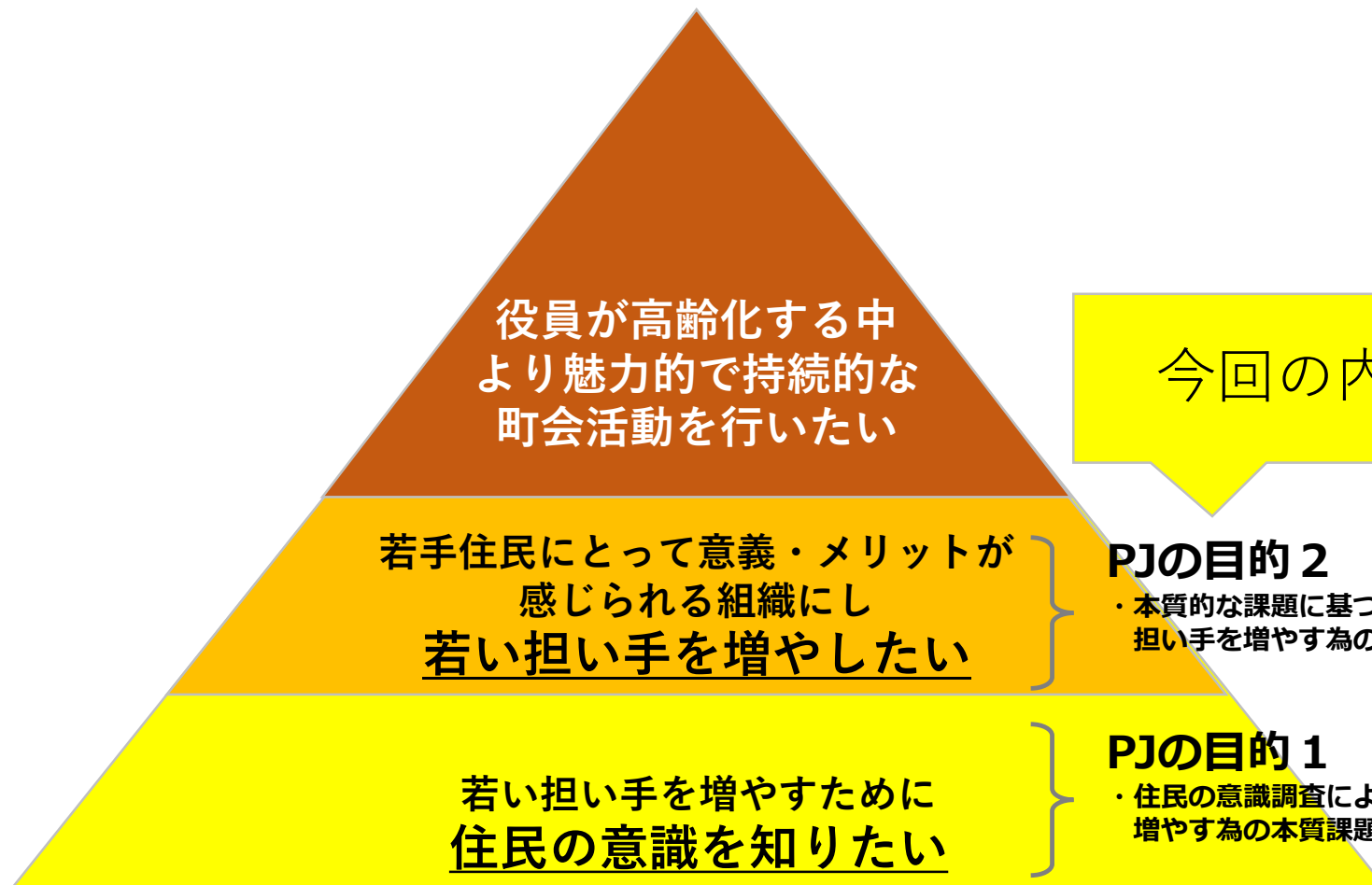


(1) プロジェクトの目的 (再掲)

本質的な目標



目標実現の為に
解決したい課題



役員が高齢化する中
より魅力的で持続的な
町会活動を行いたい

今回の内容

若手住民にとって意義・メリットが
感じられる組織にし
若い担い手を増やしたい

PJの目的 2

- ・本質的な課題に基づき、担い手を増やす為の戦略提案を行います

若い担い手を増やすために
住民の意識を知りたい

PJの目的 1

- ・住民の意識調査により、担い手を増やす為の本質課題を把握します

(2-1) 調査結果の総括

- ・「町会は必要」との意見が多数
- ・世代の偏りには多くの人々が課題を感じているが、「忙しそう・大変そう」がハードル。

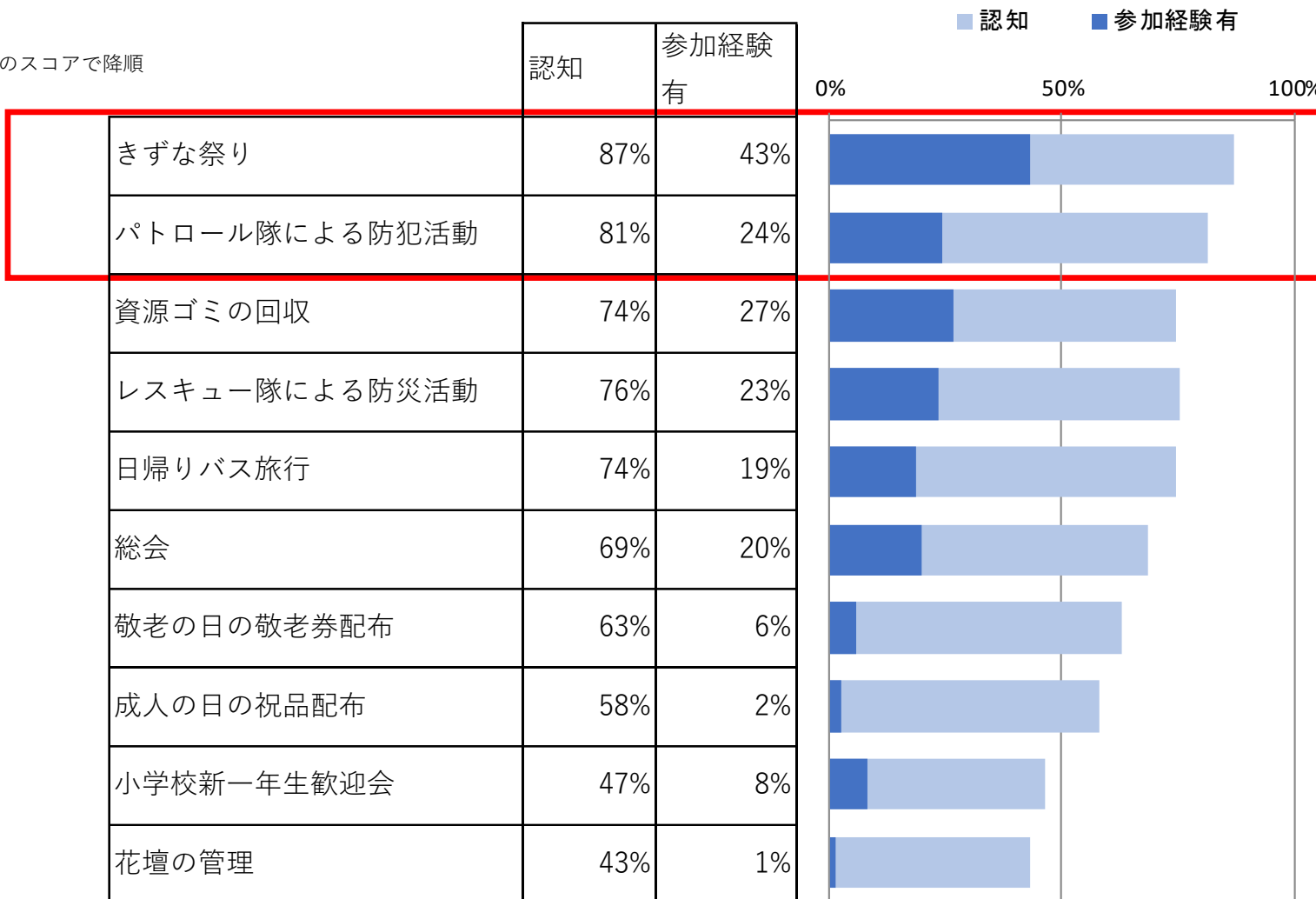
町会活動に対する印象

		町会活動に対する印象	
		ポジティブな意見○	ネガティブな意見△
町会に関する理解浸透レベル	理解浸透が高い人の意見 ○	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 地域のためになる活動（防災、防犯等）をしてきている 79% ➤ 役立つ情報を発信してくれている 21% <ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報を知ることが出来た 51% ・防災情報を知ることができた 33% ・空き巣・不審者情報を知ることができた 31% ➤ 楽しい行事を開いてくれている 20% ➤ 町会は必要76% <ul style="list-style-type: none"> ・住民同士の関係作りのため 66% ・災害などの時に助け合うため 63% ・地域の必要な情報を知るため 53% 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 若いスタッフが少ない 38% <ul style="list-style-type: none"> ・若い世代に引継がれないといけないが難しい ・皆が参加出来るように改革が必要 ・色々な年代を巻き込むことが必要 ・1人で参加しにくい（インタビューより） ・新参が参加しにくい雰囲気（インタビューより） ➤ 運営活動が忙しそう・大変そう 21% <ul style="list-style-type: none"> ・レスキュー隊や消防活動など短時間で参加できる活動を増やしてほしい ・共働きで子育てをしているので時間が持てない ・子育てコミュニティなどが有れば良い ・一度役員になると辞めにくい雰囲気があり、簡単に引き受けられない。
	人の意見 △	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 知っている活動に対しては、参加意向も高い傾向（次ページ以降参照） 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 町会運営者との接点が少ない 15% <ul style="list-style-type: none"> ・役員の方たちの顔が見えない ➤ どんな活動をしているかを教えてほしい 10% ✓ 非加入者の理由は以下2点のみ <ul style="list-style-type: none"> ・どんな活動をしているかわからない ・入ることでどんな利点があるかわからない

(2-2) 活動内容浸透度

- ・認知が8割超のものは「きずな祭り」「パトロール隊による防犯活動」。
- ・全般的には認知が高いものが参加経験も高い（赤枠）。

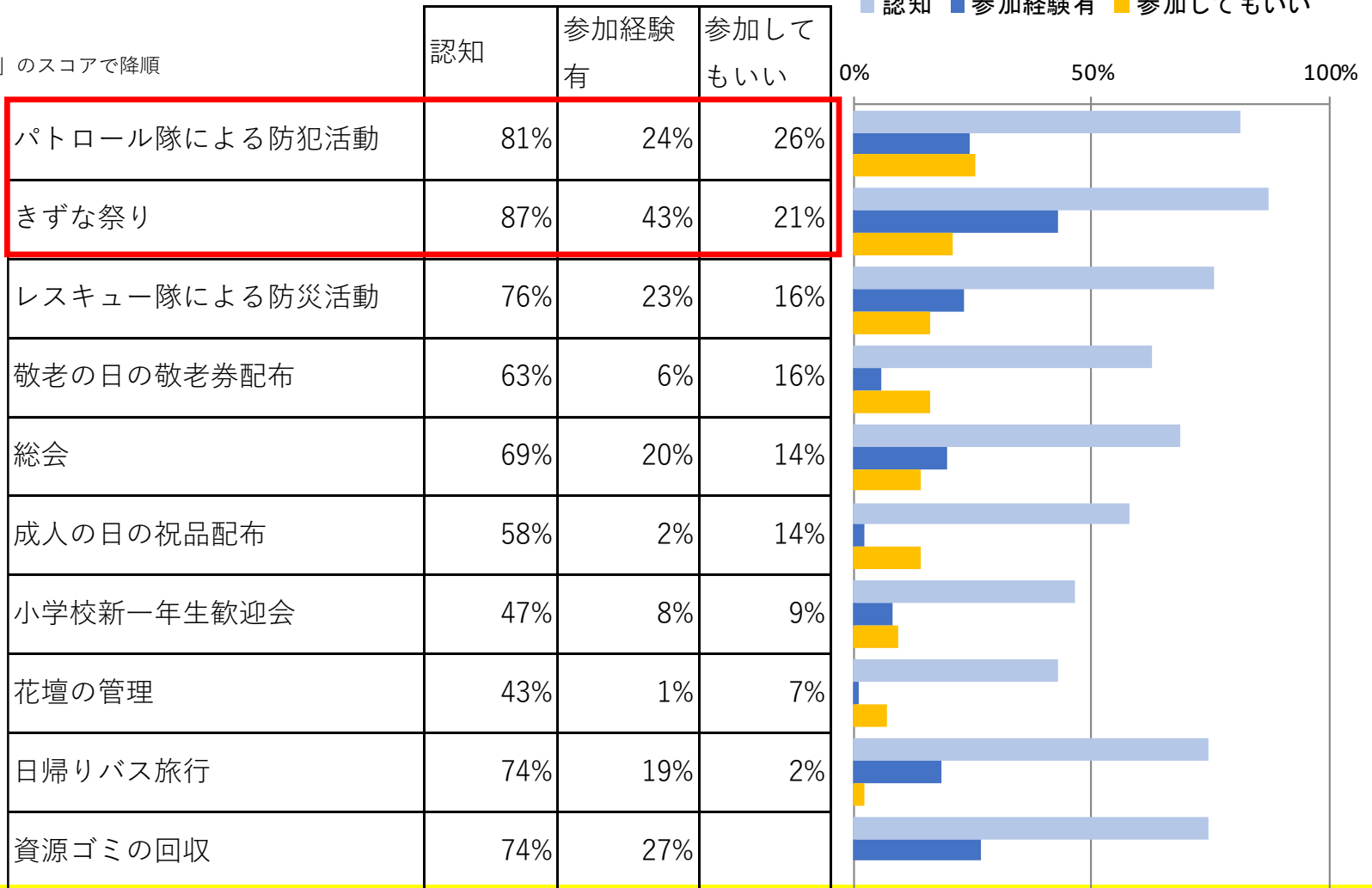
※「認知」のスコアで降順



(2-3) 活動内容浸透度・参加してもよい活動

- ・参加してもよいもの上位は、「パトロール」26%、「きずな祭り」21%。
- ・全般的に参加意向が高いものは認知も高い（日帰りバス、資源ゴミ除く。資源ゴミは参加意向非聴取）。

※「参加してもいい」のスコアで降順



(3) 提案内容

プロジェクトの目的・調査結果を踏まえ、
以下のことを提案します

- 1 防災を柱にした町会の**コンセプト**創り
- 2 若手が運営に参加しやすい**体制**づくり
- 3 若手にメリットを感じてもらおう**活動**の充実
- 4 **情報伝達**の強化

重要度



実行する順

1 → 2 → 3

4 → → → → (並行して進める)

提案 1 防災を柱にした町会のコンセプト創り

住民の意見

具体策

効果

6. 参加したことがある活動に◎を、知っているが参加したことがない活動に○を、知らない活動に×を付けてください。【町会加入者のみ】

	◎参加経験あり		○知っている		×知らない		無回答	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
A レスキュー隊による防災活動	20	23%	45	52%	6	7%	15	17%
B パトロール隊による防犯活動	21	24%	49	57%	1	1%	15	17%

8 ②桜台親和町会が「必要」「どちらかと言えば必要」と感じる理由を教えてください。

	人数	割合
A 住民同士の関係作りのため	45	66%
B 地域の必要な情報を知るため	36	53%
C 地域からの支援を受けるため	5	7%
D 清掃や防犯パトロールのため	33	49%
E 資源ゴミ回収や古着回収を行ってもらうため	24	35%
F 災害などの時に助け合うため	43	63%

③桜台親和町会に入ってよかったことがあれば、教えてください。（複数選択可）

	人数	割合
A 近所の人とのつながりができた	45	51%
B 地域の情報を知ることが出来た	45	51%
C 子育てなど役立つ情報を知ることができた	3	3%
D 空き巣・不審者情報を知ることができた	28	31%
E 防災情報を知ることができた	29	33%

提案 1 防災を柱にした町会のコンセプト創り

住民の意見

具体策

効果

桜台親和町会の 防災に対する「**想い**」を、
わかりやすく、様々な手段で伝える

想い

- ・ 阪神大震災をきっかけに、防災に力を入れ始めたエピソード
- ・ 町会に根付く助け合いの精神

わかりやすく

- ・ スローガンを前面に
- ・ 短い物語形式
- ・ 絵や写真を使う

様々な手段

- ・ 回覧、掲示板、ホームページ
- ・ 同じ言葉、同じレイアウトを至る所に

提案 1 防災を柱にした町会のコンセプト創り

住民の意見

具体策

効果

近年、災害が多発



「**共助は重要**」という意識の高まり



町会の活動に対し、
多くの住民の**共感**が得られる！

提案2 若手が運営に参加しやすい体制づくり

住民の意見

具体策

効果

①桜台親和町会への印象を教えてください。（複数選択可）

	人数	割合
G 若いスタッフが少ない	33	38%
H 運営活動が忙しそう・大変そう	18	21%
I どんな活動をしているのかわからない	10	12%
J 町会運営者との接点が少ない	13	15%
K その他()	4	5%

※町会活動して感じたことで以下の意見が多くあった。

- 同じ人がいつもやっているから、一度入ったら抜けられないのではないかと思う。
- イベントは手伝いとして増えるのは辛い。義務になると参加しづらい。ゆるく顔見知りが増えるくらいがいい。

【町会の必要性に賛同している意見】

- ちゃんと任期があり交代制であれば、いつもやっているので代わる。
- 高齢の人達がやっているのを見て申し訳ないと思ってしまう。子供がいるのは私達なのに、子供の為にやってくれているので、もう少し私達がやらなければならないと思う。もしその人たちがやらなくなってしまったらどうになってしまうのかと思う。
- 共働きで子育てをしています。
参加したい気持ちはあるのですが仕事、家事、育児、PTAとなかなか時間が持てません。
子育てコミュニティなどあって、そこで信頼関係が築けた上で町会活動がどんな方々とどんな場で何を活動しているのかを知ることができれば、もう少しお手伝いができるかと思えます。
- 会員・非会員に関わらず、住民に対し壁を作らない町会であってほしい。
住民が主体性、参加意識をもって関わられるような町会であってほしい。
- 新参者が入りやすいようハードルを下げてもっと大事。
昔から地域にいるわけではなく知り合いもいないと気後れする人もいると思う。

提案2 若手が運営に参加しやすい体制づくり

住民の意見

具体策

効果

30代
40代
子育て・仕事
で多忙な世代
町会のメリッ
トを感じても
らうこと優先
負担が少ない
行事への参加
を促す

30代
50代
子育てが落ち
着いた世代
徐々に運営に
関わってもら
う

60代
退職後の世代
負担が大きい
仕事に携わっ
てもらおう

還暦祝いの会を開
いて、役員候補を
リクルート

提案 2 若手が運営に参加しやすい体制づくり

住民の意見

具体策

効果

- 世代に合わせて、町会運営への参加意欲を高めることができる
- 効率的に役員候補にアプローチできる

提案2 若手が運営に参加しやすい体制づくり

住民の意見

具体策

効果

気軽に参加できることを
を明言

- 「出来る人が出来ることを出来る範囲で」といった、コピーを町会案内等に載せて、組織の考え方を明確にする

業務の整理

- 業務を棚卸し、優先度の高い活動をメインに据える
- マニュアル作成などによる手順の明確化
(属人性の排除⇒初めての人でもできるようにする)

提案2 若手が運営に参加しやすい体制づくり

住民の意見

具体策

効果

短期間でOK

- 1回限りの参加ができる
- 任期を決める
- 極めて限定的な目的での参加者募集
(例：テント張りの男手募集)

合間にできる

- 一人一人のやる内容や範囲を決めておく
- 一つの仕事をグループで担当させる
- 決められた役割をやればOKな、負担の軽い役割
- 打ち合わせなどは短時間で

裁量の設定

- 内容も自分で決められる、イベント企画の役割
- 若手の特技を活かした役割を任せる
(例：SNS活用策の検討)

提案2 若手が運営に参加しやすい体制づくり

住民の意見

具体策

効果

運営参加へのハードルが下がる



より気軽に運営に参加できる



主体的に町会に関わる人の
裾野を広げられる

提案3 若手にメリットを感じてもらおう活動の充実

住民の意見

具体策

効果

9.町会についての要望があれば、教えてください。（複数選択可）

	人数	割合
A 行事を増やしてほしい	1	1%
B 行事を減らしてほしい	1	1%
C どんな活動をしているかを教えてほしい	9	10%
D 近所の町会役員が誰か教えてほしい	4	4%
E 回覧板・掲示板・ホームページ以外の情報発信を始めてほしい(例：Facebookなど)	4	4%
F 夏休みに朝のラジオ体操をしてほしい	8	9%
G 子供向け・親子で参加できる行事を増やしてほしい	7	8%
H 子育て相談できるコミュニティがほしい	5	6%
I 高齢者向けの行事開催やコミュニティを立ち上げてほしい	12	13%
J 同じ趣味の人が集まることのできるコミュニティがほしい	13	15%
K その他()	7	8%

「K その他」の内訳

特に無し・・・5人

会費の集金が大変・・・1人

地域の事情に即した防災対策が必要・・・1人

提案3 若手にメリットを感じてもらおう活動の充実

住民の意見

具体策

効果

既存の活動・・・ファミリー層が興味を持つ要素を拡充

- ・防災活動→レスキュー隊+親子で参加できる防災講習など
＜具体例＞
防災キャンプ
（避難所体験、炊き出し体験、備蓄食料の試食、
レクリエーション要素を加えてBBQや餅つきなど）
町内の防災設備めぐりツアー
ハザードマップを見ながら町歩き、避難訓練
AED講習
応急手当講習
参観日後に、地域の町会合同で防災講習を開くという手段も

提案3 若手にメリットを感じてもらおう活動の充実

住民の意見

具体策

効果

既存の活動・・・ファミリー層が興味を持つ要素を拡充

- ・パトロール隊：親子で参加できるようにする
季節ごとにイベント性を持たせる
最後はお菓子をプレゼントとか
- ・きずな祭り：子供服のフリーマーケットを出店
若い世代が趣味の成果を発表できる場所を設ける
(出店や楽器の演奏など)
- ・日帰りバス旅行：子供向けの社会科見学要素を加える

提案3 若手にメリットを感じてもらおう活動の充実

住民の意見

具体策

効果

新たな活動・・・若手が興味を持って参加できるものを開始

- ・若い世代に運営を任せて、**親睦**を目的としたイベントを開催
例：バーベキュー、スポーツ、釣り など
- ・子供が**地域の大人を通して社会を知る**機会
例：大人の持つスキルを活かしたお仕事体験 など
- ・夏休みのラジオ体操

提案3 若手にメリットを感じてもらおう活動の充実

住民の意見

具体策

効果

ここまでで出した案はあくまで例です。
町会様ができそうなこと、やりたいことを、これらの例を元に
実行していただければと考えています。

特に、活動・イベントを新たに始めるときは、
重要度の高い活動（＝防災活動）を充実させ、
重要度が相対的に低い活動の比重を軽くしていくことも必要です。

提案3 若手にメリットを感じてもらおう活動の充実

住民の意見

具体策

効果

若手が、

- ・ 町会の活動に興味を持つ
- ・ 参加するメリットを感じる



町会を身近に感じ、
将来的に運営に参加する意欲を高める

提案 4 情報伝達の強化

住民の意見

具体策

効果

7. 町会の情報収集手段についてのアンケートです。該当するものに○をつけてください。

① 回覧板【町会加入者のみ】

	人数	割合
A 熟読する	12	14%
B 興味のある内容であれば見る	56	65%
C 見出しだけに目を通す	14	16%
D 見ていない	2	2%
無回答	2	2%
合計	86	

② 町内に設置している掲示板

	人数	割合
A 常にチェックしている	6	7%
B 通りかかったら見る	64	72%
C あまり見ない	15	17%
D 見ていない	4	4%
無回答	0	0%
合計	89	

③ 町会のホームページ

	人数	割合
A よく見ている	2	2%
B 時々見ている	11	12%
C 見たことがある	15	17%
D 見たことがないが知っている	19	21%
E 存在を知らない	42	47%
無回答	0	0%
合計	89	

提案 4 情報伝達の強化

住民の意見

具体策

効果

<作成例1>

ホームページの認知度UP

右のような紙を、回覧のファイルの表紙につける

QRコードとアドレス
を大きく掲載

内容を簡単に紹介

イベントなどの個別のお知らせのページにも、「〇〇について、ホームページに掲載します」と書く

桜台親和町会の情報は、
ホームページでも見ることができます！



<http://www.choukai.com/shinwachoukai/>

このような内容を、随時更新しています

- XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
- XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
- XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

提案 4 情報伝達の強化

住民の意見

具体策

効果

<作成例 2>

ホームページの認知度UP

下のようなものを、町会で作成している
全てのチラシの下部につける

QRコードとアドレス
も掲載

※さくらちゃんの
ロゴなどを活用



助かろう・助けよう！

桜台親和町会



桜台親和町会の情報は、
ホームページでも
見ることができます！

<http://www.choukai.com/shinwachoukai/>

キャラクターを載せて
印象に残るようにする

標語も載せて
町会のコンセプトを表現

提案 4 情報伝達の強化

情報伝達手段 3 つの比較

	ホームページ	回覧	掲示板
時	いつでも	手元にある時	主に昼間
場所	どこでも	自宅	掲示板のある場所
見られる人	インターネットが使える人	誰でも (町会加入者)	誰でも
見られる期間	長期 (過去の情報も閲覧可)	短時間 (手元に有る時のみ)	中期 (掲示者が意図する期間のみ)
情報の網羅性	高い	高い	低い (スペースの制約)
情報の鮮度	即時	数日～2,3週間	数時間～数日
情報の見易さ	小さい画面で見難い 不慣れな人には欲しい情報を探すのが大変	大量の情報が一度に届き、目を通すのが大変	視覚的に見やすい

提案 4 情報伝達の強化

住民の意見

具体策

効果

ホームページ

- ・ 区役所でも流さないような、ローカルな情報
例：防犯情報
川の氾濫や避難所などの災害情報

- ・ なるべく早く知りたい情報
例：川の氾濫や避難所などの災害情報
きずな祭りなどの開催有無

→Twitterも便利

- ・ 回覧には載せきれない詳細情報
例：資源ゴミ回収結果
- ・ 町会のブランドストーリー

- ・ イベントの実施報告
→TwitterやFacebookも便利

回覧

加入者全員に網羅的に情報を伝える

掲示板

イベントなどの告知系

提案 4 情報伝達の強化

住民の意見

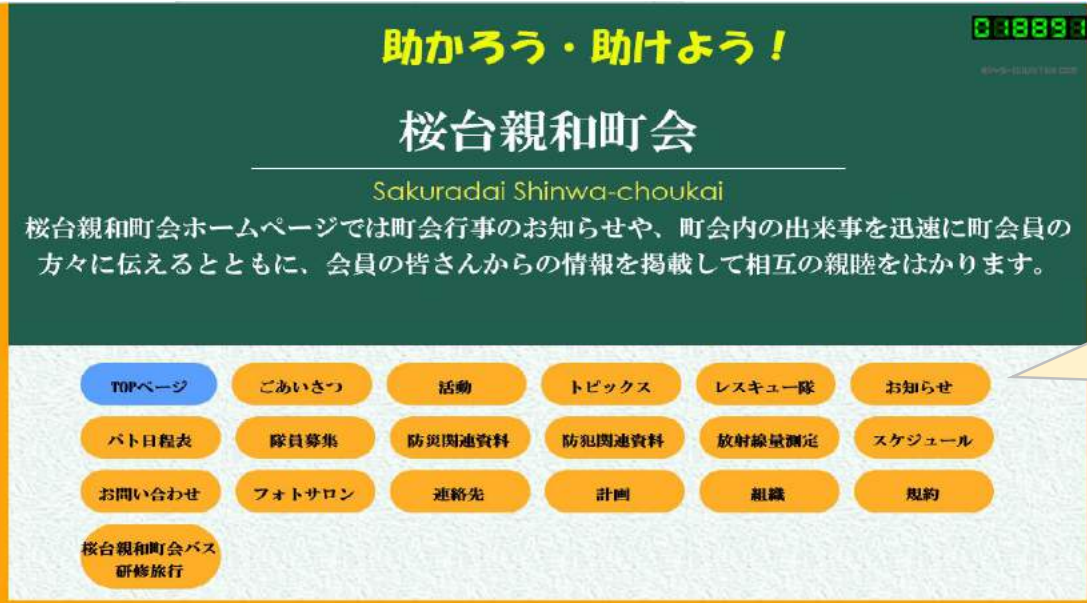
具体策

効果

町会の魅力がより伝わるホームページへ

新着情報の掲載数を絞る(過去のものは別ページへ)

メニューをまとめる



掲載日	ページ	記事(クリックして下さい)	実施日
		2019年 ↓	
2019年11月20日	お知らせ	年末防犯夜回りのお知らせ(2019年12月)	
2019年			

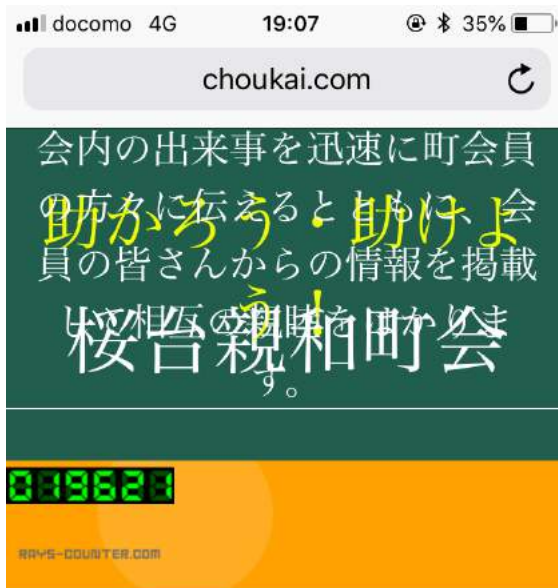
提案 4 情報伝達の強化

住民の意見

具体策

効果

スマホで見ると・・・



メニューが表示されない

掲載日	ページ	記事 (クリックしさい)

町会の魅力がより伝わるホームページへ

文字が重なってしまう

- ・若い世代が手軽に見られるよう、スマホ対応は重要
- ・facebookを活用するのも一つの手段

※活用例：井の頭一丁目町会
<https://www.facebook.com/inokashira1chome.mitakashi/>

提案 4 情報伝達の強化

住民の意見

具体策

効果

多忙な若い世代が情報を得やすくなる



ホームページならでの
情報を入手しやすくなり、
町会の活動への理解が深まる



住民一人一人が
自分ごととして考えやすくなる